

21: 晩期合併症とQOL

1. WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 山下 卓也	聖路加国際病院	血液内科
熱田 由子	日本造血細胞移植データセンター	
飯田 美奈子	愛知医科大学	造血細胞移植振興寄附講座
石川 隆之	神戸市立医療センター中央市民病院	血液内科
磯山 恵一	昭和大学藤が丘病院	小児科
稲本 賢弘	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
井上 雅美	大阪府立母子保健総合医療センター	血液・腫瘍科
大島 久美	広島大学原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター	血液・腫瘍内科研究分野
岡本 真一郎	慶應義塾大学医学部	血液内科
黒澤 彩子	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
桑原 英幸	ゆう在宅クリニック	
河野 彰夫	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
酒井 リカ	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	腫瘍内科
塩原 正明	松本歯科大学病院	小児科
谷口 修一	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液科
田淵 健	がん・感染症センター 都立駒込病院	小児科
仲宗根 秀樹	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
廣川 誠	秋田大学大学院医学系研究科	総合診療・検査診断学
藤澤 信	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
堀越 泰雄	地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
増田 昌人	琉球大学医学部附属病院	がんセンター
三原 英嗣	愛知医科大学病院	血液内科
森 有紀	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
石田 也寸志	愛媛県立中央病院	小児科
瀬戸 愛花	名古屋第一赤十字病院	血液内科
初見 菜穂子	群馬県済生会前橋病院	血液内科
早川 晶	国家公務員共済組合連合会六甲病院	緩和ケア内科
佐藤 篤	宮城県立こども病院	血液腫瘍科
西森 久和	岡山大学病院	血液・腫瘍内科
豊崎 誠子	東海大学医学部内科学系	血液腫瘍内科
山崎 聡	独立行政法人国立病院機構 九州医療センター	血液内科
宮村 耕一	名古屋第一赤十字病院	血液内科
清谷 知賀子	国立成育医療研究センター	小児がんセンター
多々良 礼音	静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科

松川 敏大	釧路労災病院	血液内科
吉岡 聡	神戸市立医療センター中央市民病院・先端医療センター	血液内科/細胞治療科

2. 承認研究の進捗状況(2016年1月-12月 ※JSHCT2017を含む)

21-4	「同種造血幹細胞移植における晩期死亡と死因の解析」 PI: 熱田由子
<p>学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)</p> <p>論文業績: Late mortality and causes of death among long-term survivors after allogeneic stem cell transplantation. Atsuta Y, Hirakawa A, Nakasone H, Kurosawa S, Oshima K, Sakai R, Ohashi K, Takahashi S, Mori T, Ozawa Y, Fukuda T, Kanamori H, Morishima Y, Kato K, Yabe H, Sakamaki H, Taniguchi S, Yamashita T; Late Effect and Quality of Life Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Biol Blood Marrow Transplant. 2016, 22(9):1702-9.</p>	
21-7	「同種造血幹細胞移植後の晩期再発に関する検討」 PI: 山下卓也
<p>学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)</p> <p>論文業績:</p>	
21-8	「自家造血幹細胞移植における晩期死亡と死因の解析」 PI: 飯田美奈子
<p>学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)</p> <p>論文業績: 投稿中</p>	

3. 会議開催記録(2016年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2016年 1月10日	国立がん研究センター 中央病院	研究進捗状況 TRUMPにおける晩期合併症とQOL関連調査項目の検討 他職種との連携について
2016年 3月5日	名古屋国際会議場	研究進捗状況 TRUMPにおける晩期合併症とQOL関連調査項目の検討 他職種との連携について
2016年 7月9日	名古屋第一赤十字病院	QOL 観察研究の進捗状況について QOL 前方視的研究について TRUMPにおける晩期合併症とQOL関連調査項目の検討

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2016年12月末時点まで)

(630)回

5. WGの今後の活動方針・抱負など

晩期合併症とQOLワーキンググループ(WG)では、TRUMPデータを用いた3課題の後方視的研究が遂行され、本年度に新たな研究が提案された。今後の移植後患者に対する長期フォローアップ体制の充実を見据えて、当WGにおいてもTRUMPにおけるより適切な晩期合併症関連情報の収集に関する検討を行いたい。

当WGが主導した下記の二つの横断的観察研究プロトコール

- ① 本邦の同種造血幹細胞移植後長期生存成人患者における Quality of Life に関する調査研究
 - ② 本邦の自家および同種造血幹細胞移植後長期生存小児患者における Quality of Life に関する調査研究
- のうち、①については、その解析結果の一部を第58回米国血液学会総会及び第39回日本造血細胞移植学会総会で発表した。②については、現在5研究課題について解析中である。

当WGでは、移植後晩期合併症に関わる多職種との連携を模索しながら、今後も研究を推進し、移植後晩期合併症の適切な管理と長期生存者のQOLの向上に資する情報の発信に努めたい。